

猛暑耐え紅く咲き継ぐ
百日紅（サルスベリ）
元気をもらい今日も
頑張る

池田町大字池田3089-4
薄井孝彦 Tel・Fax 0261-62-5093
mail : peace-ikeda@peach.plala.or.jp
http://web-ariakesan.com/

保育園の統合問題を考える Ⅱ



残暑お見舞い申し上げます。前号に引き続き「保育園の統合問題」を考えてみました。未だ統合への確定案は示されておりませんが、統合には3つの大きな問題点があると考えます。以下、私の考えを述べさせていただきますので、ご意見いただければ幸いです。

1. 会染地域から保育園がなくなる影響は ⇒ 地域社会の機能が低下し、地域の活性化に影響 人口減につながる。

会染地域と池田地域は歴史的経過のなかで人々が集まり絆をふかめ、各々独自の地域社会を育てて来た。保育園・小学校は地域の中核となる施設で、会染地域から保育園がなくなれば、地域の社会機能低下は避けられない。若い子育て世帯にとって保育園の存在は大きい。地域に保育園がなくなれば移住する若者にとり魅力に欠ける。そのことは会染地域の人口減につながる。しいては町の人口減にもつながりかねない。皆さんはどう思われますか。



会染保育園



池田保育園

2. 会染地域の保護者や池田保育園周辺への交通への影響は ⇒ 会染地域保護者の園児送迎負担は大きい 池田保育園周辺の交通渋滞発生

両保育園が統合されれば、会染地域から池田保育園への送迎（片道約6Km）は保護者の大変な負担となる。特に、松本市・安曇野市地域に通勤されている場合の往復は負担になる。

更に、池田保育園近くの県道は朝・夕に混雑する。バイパスとなる池田保育園まわりの狭い町道は池田小学校・高瀬中学校の通学路となっており、交通事故の危険性も高まる。

保育園は生活圏に近い所にあることが必要条件であり、統合すべきでない。皆さん、どう思われますか。

3. 統合による保育環境への影響は ⇒ 園児一人当たりの保育室・園庭面積は低下する。保育環境を低下させる統合は必要か。



現在の池田・会染保育園の3歳～5歳児の年令毎の園児1人当たりの保育室面積は3.07～5.45 m²である。統合後は2.40～4.44 m²となり、明らかに低下する。神奈川大学人間科学部教授の渡部かなえ氏は「子ども達が元気にのびのび育つには、子ども達が遊べる広い場所が不可欠」としている。現在の池田保育園・会染保育園の保育環境は非常に優れており、子どもの成長に良いと考える。皆さん、どう思われますか。